

令和7年度
(令和8年度 入学生用)



学 校 案 内



福井県立武生高等学校 定時制

《 単位制 》

本校は全日制併設の定時制として昭和 23 年に開校して以来、多くの卒業生を送り出してきました。令和元年度からは昼間部のみとなり、単位制と 2 学期制を導入しています。令和 7 年度の在籍生徒数は 139 名(6/1 現在)で、生徒一人ひとりが自分で時間割を組み、主体的に学習する体制をとっています。

施設面も充実しており、体育館・特別教室・パソコン室も含めて、全日制と異なる校舎で授業を行っています。遠足、文化祭、生徒会企画、進路研修など、学校行事も充実しています。

部活動も盛んで、令和 7 年度は卓球、バスケットボール、バドミントン、陸上、パソコン、ガーデニング、手芸、軽音・合唱、ボランティアの各部が活動しており、運動部は例年、6 月の県高校定通総合体育大会に、文化部は 10 月の県定通連合文化祭にそれぞれ出場、出品しています。

1. 本校の特色

① 形態

- ・午後 1 日 4 時限の授業を行います。45 分授業です。
- ・午後の授業の他に、午前中に 2 時限の特設授業があります。
- ・希望者は、特設授業を履修して単位を修得することで、3 年間で卒業することができます。
- ・4 年間で卒業する場合は、おおむね午後の授業のみの履修と修得で卒業することが可能ですが、一部の科目は、午前の特設授業を履修、修得する必要があります。
- ・前期・後期の 2 学期制です。(前期：4～9 月、後期：10～3 月)。単位認定は学期ごとに行います。(「総合的な探究の時間」のみ通年の履修で単位を認定します。)

② 学習方法

- ・時間割は自分で作ります。開設科目の組合せ表から、必履修科目以外の科目を進路・適性・興味・関心に応じて選択し、自分のペースで学習していくことができます。ただし、1 年次は必履修科目を履修しなければならないため、選択の余地はあまりありません。

③ 学校生活

- ・ホーム(クラス)は入学年次ごとに編成し、担任が学習や生活面などの指導や相談を行います。
- ・ホームごとに授業を行うのではなく、各自の時間割に従って自分が受ける授業の教室へ移動します。
- ・服装は、学生らしい節度と品位を保ったものであれば、原則として自由です。
希望者は、武生高校全日制・定時制共通の学生服(男子)・ブレザー(女子)を着ることもできます。
- ・アルバイトをすることが認められています。ただし、学業に支障が出るような内容や勤務時間のアルバイトは認めていません。
- ・部活動は希望制です。4 限目終了後に行います。

④ 卒業の要件

- (1) 定められた必履修科目を履修し、「総合的な探究の時間」を含めた合計 74 単位以上を修得していること。
- (2) 本校と他の高校での通算修業期間が 3 年以上であること。その際、本校に 1 年以上在籍し、10 単位以上修得すること。
- (3) 特別活動の成果がその目標に照らして満足できると認められること。

授業時間帯		
特設	1 限	9：50～10：35
	2 限	10：40～11：25
	昼食	11：25～12：00
授業	1 限	12：00～12：45
	2 限	12：50～13：35
	3 限	13：40～14：25
	SH/清掃	14：25～14：35
	4 限	14：40～15：25

※ SH は月・水・金曜日、清掃は火・木に実施しています。

単位 たとえば年間で 2 単位の科目とは、その科目の授業が週 2 時間あるということです。

前期末と後期末にその科目の履修が認められ、さらに成績が規定以上であれば、各学期 1 単位、年間で 2 単位が修得できます。

履修 履修とは、その科目の出席時間数が規定の時間数以上あることです。履修が成立することによって、その科目の単位を修得できる資格を得ることができます。

修得 履修した科目の成績が規定の評定以上あることにより、当該科目の単位を修得できます。

2. 教育課程・開設予定科目

令和 7 年度入学生 3(4)か年間 教育課程と開設科目

教科	科目	昼間部	午前特設
国語	現代の国語	2	
	言語文化	2	
	論理国語	4	
	文学国語	4	
	国語表現		4
地理歴史	古典探究		4
	地理総合	2	
	地理探究	4	
	歴史総合	2	2
	日本史探究	4	
公民	世界史探究		4
	公共	2	2
	倫理		2
数学	政治・経済		2
	数学 I	4	
	数学 II	4	
	数学 A		2
	数学 B		2
	数学 F		2
理科	教養の数学	2	
	科学と人間生活	2	
	物理基礎		2
	物理		4
	化学基礎	2	
	生物基礎	2	
	生物		4
保体	地学基礎		2
	体育	6	2
	保健	2	
芸術	音楽 I		2
	美術 I		2
	書道 I	2	
	書道 II	2	
外国語	英語コミュニケーション I	4	
	英語コミュニケーション II		4
	論理・表現 I	2	
	論理・表現 II		2
	英語読解		2
家庭情報	家庭基礎	2	
	情報		2
家庭(専門)	フードデザイン		4
	保育基礎	2	
	ファッション造形基礎	4	
商業(専門)	課題研究		4
表現探究	情報処理	4	
ライフスキル	コミュニケーション演習	2	
	ライフスキル	2	
小計		78	60
ホームルーム活動		3(4)	
総合的な探究の時間		3(4)	2

令和 7 年度入学生の開設科目組合せ表

昼間部授業					
1 群	現代の国語(2)	公共(2)	情報処理 a(2)	体育 c(2)	
	言語文化(2)	書道 I(2)	ライフスキル(2)	数学 II b(2)	
2 群	数学 I(4)	体育 b(2)	情報処理 b(2)	保育基礎(2)	
		地理総合(2)	化学基礎(2)	文学国語 b(2)	
3 群	体育 a(2)	生物基礎(2)	論理・表現 I(2)	日本史探究(4)	
	家庭基礎(2)	論理国語 a(2)	情報 I(2)		
4 群	英語コミュニケーション I(4)	歴史総合(2)	数学 II a(2)	地理探究(4)	ファッション造形基礎(4)
		情報 I(2)	文学国語 a(2)		教養の数学(2)
5 群	科学と人間生活(2)	保健(2)	書道 II(2)	論理国語 b(2)	コミュニケーション演習(2)

午前特設授業					
6 群	歴史総合(2)	物理基礎(2)	数学 B(2)	体育 d(2)	公共(2)
	英語コミュニケーション II a(2)	国語表現 b(2)	フードデザイン b(2)	課題研究 b(2)	
7 群	歴史総合(2)	物理基礎(2)	数学 B(2)	体育 d(2)	
	課題研究 a(2)	世界史探究 a(2)	英語コミュニケーション II b(2)	生物 a(2)	
8 群	数学 F(2)	美術 I(2)	音楽 I(2)	地学基礎(2)	
	古典探究 a(2)	物理 b(2)	倫理(2)	英語読解(2)	
9 群	数学 F(2)	美術 I(2)	音楽 I(2)	地学基礎(2)	
	物理 a(2)	古典探究 b(2)	倫理(2)	政治・経済(2)	
10 群	数学 A(2)	論理・表現 II(2)	世界史探究 b(2)	生物 b(2)	
	国語表現 a(2)	フードデザイン a(2)	総合的な探究の時間(2)		

() 内の数字は通年での単位数。a,b,c,d は分割履修。

開設科目の選択の仕方

- ・1～10 群から、それぞれ科目を選択します。
- ・必履修科目を優先的に選択します。
- ・卒業するためには、ホームルーム活動を除いて 7 4 単位以上を修得することが必要です。
- ・4 年間での卒業を考える場合は、6、7 群の体育 d を除き、昼間部 1～5 群の授業のみ選択することが可能です。

3. 学校生活の紹介

生徒の声

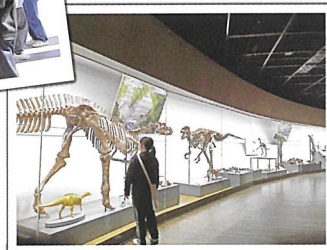


自分のペースで無理なく学校生活を送れるのが定時制のいいところだと思います。いろいろな年代の人達と一緒に授業を受けたり学校行事に参加したりするので、普通の学校よりも様々な人々と交流ができます。自分の時間もしっかりとれて、バイトなどの学校外での活動も充実できます。(Mさん)

いろいろな年齢や地域の人があります。授業は単位制で、ある程度自分で好きな授業を選ぶことができるので、新入生から卒業予定の人まで一緒に授業を受けます。先生方だけでなく、先輩方も優しくわからないことを教えてくれます。ゆとりのある学校生活が送れるので自分には非常に合っています。(Aさん)

学校行事ではいろいろな学年の人達と一緒に行動することが多いです。クラスの中にもいろいろな地域や年齢の人たちがいて、その人たちと接することで多くの経験ができます。時間にゆとりもあり、学校外で自分のやりたいことができる時間もつくれます。(Eさん)

5・10月 遠足



9月 校内文化祭



授業風景 (体育とフードデザイン)



10月 定通連合文化祭



12月 生徒会企画



卒業生からのメッセージ



自分に合った授業を自分のペースで進めることができたので、3年間きちんと登校して卒業することができたと思います。アルバイトもできたので、それを通して働くことの素晴らしさや様々な年代の人々とのかわりなども経験できました。学内、学外ともに様々な経験ができると思いますので、積極的に学校生活を送ってみてください。(卒業生 Kくん)

少人数でゆとりのある学校生活が送れるので、中学時代に不登校だった自分も無理することなく学校生活を送ることができました。入学前は勉強についていけるかどうか不安でしたが、先生方が基礎的なことから丁寧に教えてくださったおかげで、無事に卒業することができたと思います。先生方との距離も近く、職員室や保健室に入りやすいので、いろいろなことをみんな相談していました。中学時代に学校生活に不安を覚えた人たちもきちんと頑張って卒業できるようになれる環境があると思います。(卒業生 Nさん)

4. 部活動の紹介

バスケットボール部



バスケットボール部は、週に2回、先生も参加したゲーム形式で活動を行っています。全日制との練習試合も行っています。練習時間は毎回1時間半〜2時間ほどです。経験者、初心者関係なく仲良く練習しています。一緒に全国大会出場を目指してがんばりましょう!

バドミントン部



バドミントン部は週2回、放課後に練習をしています。時間は短ですが、その中でできる限り頑張っています。グッシュやノック、基礎打ち、試合形式でゲームを楽しんでいます。初心者も経験者も一緒に仲良く練習しています。ぜひ来てみてください。

卓球部



卓球部は週2回、体育館ギャラリーで練習しています。みんな個性豊かな部員ばかりですが、全国大会に出場するという1つの目標に向かって頑張っています。本気で卓球をやりたい人は、男女問わず大歓迎です。ぜひ来てみてください。

陸上部



陸上部は令和7年からスタートしました。週2回、体育館や外周コース、たまにグラウンドで練習しています。いろいろなドリルやラダーを使ってよい走りができるようにしたり、道具を使って補強をしたりしています。また、長距離が好きな部員は外周で走りこんでいます。興味のある人は一度覗いてください。

ボランティア部



令和6年度からスタートしたばかりの新しい部活動です。週2回、校内や学校周辺で活動しています。普段手が届かない階段のワックスがけをしたり、教室の机椅子の脚を綺麗にしたり、和気あいあいと清掃活動を中心に取組んでいます。昨年度は、年に数回、校外でのイベントや子供たちと交流するボランティアにも参加しました。

ガーデニング部



ガーデニング部は、盆栽、多肉植物、季節の生け花を自己流で楽しんでいます。花が咲くと季節の移りを感じるともに、これまで手をかけてきたことが報われます。癒やしを与えられるガーデニングをやってみてはどうでしょうか。

手芸部



手芸部は週2回火曜日と木曜日の放課後に家庭科室で「自分の好きなモノ」を作っています。まず挑戦したのはレジンでキーホルダーづくり。つぎはミシンでぞうきんを縫いました。毎時間、楽しく取り組んでいます。一緒に何かづくりませんか。

軽音・合唱部



軽音楽部門は週3回、芸術室をお借りして練習に励んでいます。練習の成果は、9月の文化祭でのステージ発表、12月のクリスマス会での生徒ホールでの発表などで披露しています。合唱部門は、全日制の合唱部員とともに練習しています。県大会をはじめ各種コンクールにも参加しています。

パソコン部



パソコン部では、週2回、部員それぞれがやりたいことをパソコンを使ってやっています。タイピングの練習をする人、小説を書いている人、イラスト(CG)を描いている人、ネットで自分の趣味について調べている人など、様々です。10月に実施されるワープロ競技大会にも出場しています。

5. 卒業生の進路状況(近年の実績)

主な進学先

金沢学院大学 京都橘大学 仁愛大学 名古屋経済大学 福井県立大学 福井工業大学 福井大学
仁愛女子短期大学 高山自動車短期大学 びわこ学院大学短期大学部

天谷調理製菓専門学校 大阪ウェディング&ブライダル専門学校 大原医療・スポーツ専門学校 金沢科学技術高等学校
京都コンピュータ学院 武生看護専門学校 福井情報ITクリエイター専門学校 福井県理美容専門学校
福井県立産業技術学院 若狭医療福祉専門学校

主な就職先

アイシン福井 アイビックス アシックスアパレル工業 内田木材店 オーディオテクニカフクイ 加藤兄弟 ギャレックス
キョーセイ 倉茂電工 クラシス コートヤードバイマリオット福井 光道園 サンエツ運輸 自衛隊 新越部品 成建工業
積心会ひまわり荘 タイホウ 田中化学研究所 坪内電機 ティーエムティー TOP 日信化学工業 ハッピー化学工業
パトック 浜本テクニカル ヒットユニオン武生 福井鉄道 福井トヨタ 福井村田製作所 福井めがね工業 ふじや食品
ホクコンプロダクト ポンパドール 丸福産業 三島石油 未来コーセン 柳井化学工業 山金工業 リトラス わかたけ共済部

学校の所在地



福井県立武生高等学校 定時制

〒915-0085 福井県越前市八幡1丁目25-15

TEL : 0778-22-0691 FAX : 0778-22-1005

URL <https://www.takefu-h.ed.jp/tei/ji/>